

沖縄県マリンタウン国際会議・大型展示場整備運営等事業に係る

第3回有識者委員会議事概要

1. 日 時：令和6年3月28日（木）14:30～16:30
2. 場 所：沖縄県教職員共済会館八汐荘 中会議室
3. 出席者：

—委員—

下地	芳郎	琉球大学国際創造学部 客員教授 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長
小倉	暢之	琉球大学 名誉教授
原	利一	松江コンベンションビューロー 一般財団法人くにびきメッセ 誘致統括官
前田	博	森・濱田松本法律事務所 弁護士
手計	徹也	デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザーリー合同会社 パートナー 公認会計士
瀧辺	美紀	沖縄経済同友会 代表幹事
照屋	勉	与那原町 町長
崎原	盛秀	西原町 町長
宮城	嗣吉	沖縄県 文化観光スポーツ部長

—事務局及び業務受託者—

沖縄県、デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザーリー合同会社

4. 議題：
 - (1) 前回委員会における意見への対応について
 - (2) 事業者の募集・選定の方針について
 - (3) 要求水準書への質問及び意見に対する回答について
 - (4) 実施方針・要求水準書（案）の変更について
 - (5) 特定事業の選定（案）について
 - (6) 入札説明書（案）について
 - (7) 質疑応答
5. 配布資料
 - (1) 資料1-1 事業手続き・スケジュールについて
 - (2) 資料1-2 前回委員会における意見への対応について
 - (3) 資料2-1 落札者決定基準の検討
 - (4) 資料2-2 落札者決定基準（案）
 - (5) 資料3 要求水準書（案）への質問及び意見に対する回答について
 - (6) 資料4-1 実施方針と要求水準書（案）の変更について
 - (7) 資料4-2 実施方針 変更

- (8) 資料4-3 要求水準書(案) 変更
- (9) 資料4-4 世界ウチナンチュセンター(仮称) 要求水準書(案)
- (10) 資料5-1 特定事業の選定(案) について
- (11) 資料5-2 特定事業の選定(素案)
- (12) 資料6 入札説明書(案) について
- (13) 【参考】 沖縄県大型 MICE 施設整備運営事業入札結果報告書(平成29年7月)

6. 議事:

- (1) 前回委員会における意見への対応について
 - 地元企業の参画に関する対応を確認した。
- (2) 事業者の募集・選定の方針について
 - 本件の特色を踏まえて独自に落札者決定基準を作成されたことが伝わり、特に各項目について具体的な対応を求めている点が評価できる。これまでの経験から事業者提案のベースとなる基本方針の内容で差をつけることが難しいと感じているため、基本方針についても事業者に独自性のある提案を求められるような評価基準としてほしい。
 - ハード面を重視する配点構成とを感じるが、長期の事業期間であることを鑑みて事業の継続性を重視すべきと考える。
 - 着工前に地元住民や県と事業者との間で、事業者の設計内容に関して調整する機会を設けることについて確認したい。
 - 東海岸という立地から、2次交通との連携について、運営、地域貢献の一部として評価対象とすることを検討いただきたい。
 - 落札者決定基準について、事業者から強いコミットメントを得るための県の戦略を検討いただきたい。
 - 第6次沖縄県観光振興基本計画等におけるキーワードである「世界から選ばれる」にふさわしい施設の水準になっているかを、落札者決定基準で強調しても良いのではないかと懸念している。
- (3) 要求水準書への質問及び意見に対する回答について
 - 要求水準書の質問に対する回答について、事業者からの反応を確認したい。
 - 物価高、資材不足を踏まえた要求水準に対しての事業者からの反応を確認したい。
- (4) 実施方針・要求水準書(案)の変更について
 - 世界ウチナンチュセンターについて、事業者が提案する内容を確認したい。
 - 世界のウチナンチュの方々には熱い想いを持たれており、関心は高いと考える。その想いに応えられる施設となるか懸念している。
 - 将来、世界ウチナンチュセンターが活発化して増築を要望された場合を考慮して配置をすべきではないか。
 - 世界ウチナンチュセンターの施設構成はセミナールームなど MICE 施設の本質であるため、本体と別の施設となっている点に違和感がある。
 - 世界ウチナンチュセンターと MICE 施設の営業時間の差によって警備が難しくなるなどの課題もある。また清掃についても面積按分を想定されているとのことであるが、MICE 施設は毎日清掃するものではない。先述のような背景もあり、事業者から見ると保守管理体制が大雑把に捉えられてしまわないか懸念する。
- (5) 特定事業の選定(案) について

- 特定事業の選定の目的を改めて確認したい。

(6) 入札説明書（案）について

- 施設の開業が予定された時期から遅れる場合は可及的速やかに協議することを求めることが一般的である。前倒しする場合は基本的には問題ないが、本事業の交通施策とのタイミングを考慮すべきと考える。後ろ倒しの場合は、一定期間を過ぎた場合には事業者との契約を解除する点を明記すべきである。
- 後ろ倒しも不可抗力によるものであれば県としてやむを得ないと考えるが、基本的には提示されたスケジュールに沿って行ってほしい。
- 昨年、沖縄では大型台風で1週間程度施設運営が難しい状況があったため、そのような事態に対応できる施設となるように検討すべきと考える。
- 県内ホテルでは、それぞれで非常用電源を独自に設置することはかなり難しいため、大規模ホテルには行政の負担で非常用電源を整備すべきではないかという声も上がっている。

(7) 質疑応答

- 第5回の委員会がプレゼンテーションと同じタイミングになっているが、プレゼンテーションでの質問作成・準備のためにその前に一度委員会を設定する必要があるのではないか。

以上